

(委員会設置背景)

コロナ禍で衰退した地域にはリアルな活気や賑わいが求められているため、人々が交流する機会を創出する必要があります。

(委員会設置目的)

地域にリアルな交流に基づく活気や賑わいを創出することを目的とします。

(委員会概算全体予算)

NO1	4月定例会	交流会	予算	60,000円
NO2	8月定例会	花火ウィーク	予算	10,000円
			合計	70,000円

(事業内容)

■ソーシャルリング

(事業)

1) 実施に至る背景: コロナ禍で人々の交流が減ってしまったため、交流の機会を創出する必要があります。

2) 目的: 人々が交流することと経済を活性化することを目的とします。

3) 概算予算: 60,000円

4) 実施期間: 4月

5) 事業内容: ソーシャルリングを販売し、老若男女問わず、世代を超えて大仙郷の人々に交流していただきます。

ソーシャルリングは「話しかけてもいいですよ」という意思表示をするツールで、カフェや飲食店、ショッピングモール、駅などいたるところで色々な人に話しかけられる交流を促進するアイテムです。SNSはソーシャルと言いながら知り合いとしかつながっていないという、まるでソーシャルでない人々が集うツールであり、メタバース化したところで人々をリアルな意味でつなげないと思いますが、ソーシャルリングは圧倒的にリアルでパワフルに人をつなげることができます。友達づくりに、婚活に、リクルートに、営業に、人と人が関わるすべてのチャンスにソーシャルリングを使っていただきたいです。ソーシャルリングで社会に輪を創り上げましょう。

6) 目標数値: リング販売数500本

7) 得られる効果: 新しい価値観や多様性を認め合う社会になります。

8) パートナー: 大仙市の飲食店、大仙市

■BANG STAGE in 花火ウィーク

(事業)

1) 実施に至る背景: コロナ禍で出会いが減ってしまったため、活気を取り戻すために出会いを増やす必要があります。

2) 目的: 花火ウィークを盛り上げることで、地域に賑わいをもたらすことを目的とします。

3) 概算予算: 10,000円

4) 実施期間: 花火ウィーク

5) 事業内容: 人は賑わいに集いますので、場を盛り上げるメインとなるステージを華やかに運営致します。出演者のバリエーションを増やすことで、より様々な人たちへ、様々な魅力ある出演者のパフォーマンスをお届けします。SNSの台頭により、メディアの情報は受け取るだけのものではなく、発信するものになりました。どんな人でも様々な才能をSNS上で開花させています。そのような方々の中でリアルでパフォーマンスしたい人もいるかもしれません。そんな人を応援できるステージになればいいと考えております。

すでにある役割を引き継ぐ形ではありますが、大曲JCが担当する大きな祭りとして、全国的にも大曲JCが知られるきっかけにしたいと思います。また、これをきっかけに花火ウィーク期間中に新たな仕掛けをするステップにもなると考えます。

6) 目標数値: 来場者22年度比10%増

7) 得られる効果: 花火ウィークでたくさんの人にリアルな思い出ができます。

8) パートナー: 花火ウィーク実行委員会、大仙市